

□口繪『圍爐裡』は信州山中の作にて
ワットマン四ツ切に御座候

□次號の原色版は、ブレバゾン氏の風景
畫及び大下氏の「國府津の朝」、他に石版
一葉を登載致可候

□五週年紀念號の計畫には御賛同の聲少
なからず、よつて實行致す事に決し申候。
就ては御希望の方は早速御申出ありた
く、スケッチ及びスタデー共、かゝる低
き價にては他日再び諸君の御手に入るこ
とあらざるべしと存候

□本會同人河合新藏氏のために、氏の友
人等は今回無涯畫會を催し候、巻尾廣告
御一覽の上御賛助を仰き度候

□『みづゑ』特價販賣續々御申込ありて、
多數の缺本を生じ候、従つて價格に相違
を生し候に付、今後の御註文は本號廣告
の價によられたく候

□讀者より直接質問をよせられ候分、是
迄一々御答へ申上置候へとも、都合上今
後は本誌『問に答ふ』欄のほか、タトへ返

信料附にても一切直接に御答致さぬこと
に相成候に付、御承知置下されたく候。

但、會友諸君は此限りに無之候へども、
可相成問答欄にて願上候

□『讀者の領分』御投稿は、出来るだけ簡
單に願上候、長文は削除又は没書可致候

近 事

△日本水彩畫會研究所一月例會は、新年
會を兼ね、二十三日午前より開會、正午
前繪畫の陳列を終り、午後より會員の餘
興十數番あり、各自充分に歡を盡し夜に
入つて散會したり、詳細は次號に

△太平洋畫會新年會は、一月十五日下谷
區谷中眞島町なる同會研究所に於て催さ
れたり、本年は研究所創立五週年に相當
するを以て、關係者及各新聞記者を招待
し、盛なる餘興あり、夜十二時散會した
り

△日本水彩畫會研究所横濱支部にては、
九日横濱に於て新年會を催ふし、來賓及
會員合せて二十五名、福引及び種々の餘
興ありて午後九時頃散會したり、猶同支

部の田中太郎吉氏は成績殊によく、今回
特待生の待遇を與へられたり

△日本水彩畫會研究所の會員たりし、藤
田紫舟深川勇雄氏等主唱となり、日本水
彩畫會關西支部を設くべく専ら盡力中な
り、趣意書は左の如し

日本水彩畫會關西支部

創立廣告

斯道の老大家淺井先生逝きて以來、關
西の水彩畫界振はざるもの久し、生等
茲に決する處あり、東京本部の讚諾を
徑、敢て同好の諸兄弟に謀つて當支部
を創始し、以て尙き趣味と樂しき技術
の向上に資せんとす、専門家と否とを
問はず、パレットに親しむの人にして
眞面目に水彩畫を研究せんとする諸
君、願くば生等の學を賛し、筆を提げ
て來り會せずや。 發 起 人
追て當分事務所を左の處に置く有志の
諸君は郵券二錢封入當事務所宛申込ま
れたし。

近江國膳所町字錦木、下藤田紫舟宅